

# 磐城時報

編輯部 磐城 石城郡 平町 新町 十四  
印刷部 磐城 石城郡 平町 新町 十四  
發行部 磐城 石城郡 平町 新町 十四  
電話 一四四  
郵政掛號 第一四四號  
廣告料 一行十四字 每日五錢  
印刷料 一行十四字 每日五錢  
訂費 一月一元 三月二元 半年三元 一年五元  
代售處 各書局 雜貨店 藥店 均有代售

## 五人殺し事件

### 犯人の目星つく??

#### 推測さる、重大な陰謀

捜索本部色めき立つ

屢報一内郷村大字白水大越家一家五人皆殺し事件は犯人の手懸り薄く早くも迷宮に入りかけたと傳へらるるに至つたが、二十五日夕刻に至り犯人逮捕について或る確かな端緒を得捜索本部では色めき立ち二十六日午前には平支部から宇留野豫審判事等書記を隨へて急行し詳細なる取調べを行ふ事になつた。或る確かな端緒については茲に赤裸々に報導するの自由を許されてゐないが、今回の兇行は屢報の如く三歳の赤兒まで家族全部を即死若くは再び生くる事の出来ない重傷を負はせ而も犯行は物盗りの所爲に非ず且つ被害者は濃厚にして恨みを買ふ人物でないといふ關係から推測し、且つ又兇行當夜は真の闇夜で大越家の事情を平素から知悉してゐる者でなければ家族全部を殺さず殺す程密かに忍び込めぬ等各方面の事情から推して或る重大な陰謀の下に極めて近い○○○が企てた犯行らしく二十五日午後以來唯一の参考人として大越○○○の○○○の○○○の○○○(○○○)を白水捜索本部に引致し小田部刑事課長以下総がかりで嚴重な取調べを行つてゐるが、右○○○の○○○の自白若くは證言によつては或は一兩日中に事件の謎が全く解かるゝであらうと想像さるゝ程重要な○○○と見做されてゐる。

## 各地に現はる

### 嫌疑者

治(二九)は二十四日午後十時四十分原の町驛着下り貨物第二六〇列車が到着すると石炭積み無内郷村磐城炭礦高坂坑夫佐藤長蓋車から飛び降りたまま東ホー

## 田町區民まで懼れた

### 帝釋天像の靈驗

#### 吉田家から二十三日夜堂に寄附

平町田町吉田時計店では今回秘蔵して置いた帝釋天木像(高さ四尺余)平町舊郡役所通二十三夜堂に寄附を申し出たので二十六日午前十時盛大な入室式を行つたが、同家で之を寄附するに至つたについて次の如き因縁が傳へられてゐる。

吉田時計店主吉田好文氏實父故吉田定守氏は嘗て東京から前記帝釋天木像を買ひ求め之を自宅階上戸棚の中に秘蔵して置いたが、その靈驗によるためかそれ以來同家で重病三人にも達し最近では主人定守氏は腦を胃され遂に長逝した、その間五日目諸橋家で右木像を千圓で買ひ求めやうと交渉があつたが、他家に譲つ

### 湯本選挙名簿

湯本町に於ける縣會議員や衆議院議員選挙名簿は十二月の火災により全部焼失したので再調査の日酒一升五合を飲み綴り石炭準備中であつたが縣會議員名簿積み作業中貨車内で熟睡し原町の作成は廿四日、縦覧期日は十日まで持つて來られたと申し立て三日から二十七日迄確定日は七日だが、怪しい点あり原町署では月三日と決定した、更に衆議員内郷村白水の五人殺し事件に關連選挙名簿の作成期は三月二十四日聯してゐるではないかと嚴重取り、期間は二十四日から四月二日調中であるといふが、又二十五日迄、縦覧期日は四月二十日午後五時頃内郷村宮附近を徘徊八日から五月十二日迄と確定し、囂中の舉動不審の男宮城縣生れた。

## 來賓も袖を絞つた

### 訓盲院卒業式

財團法人磐城訓盲院第十九回卒業生の如し。

業證書授與式は二十五日午前十一時より舉行されたが本年度の卒業生は左記七名である。

相馬郡中村町志賀安、石城郡江名町關根菊治、双葉郡富岡町猪狩豊、石城郡上野野村石森秀夫、茨城縣多賀郡日立町根本孝、勿來町鴨忠夫、四倉町須藤とくよ。

因に卒業生志賀安は四年間精勤學術優等品行方正で今回卒業に當り百餘圓の貯蓄を、又猪狩豊は同上二百五十圓の貯蓄を有する篤行者で當日涙ぐましい點子の答辭は志賀安によつて朗讀されたが臨席來賓は何れも思はず涙の袖を絞つた。

## 平陽女學校卒業式

平町播館小路平陽女學校卒業式は二十八日午前十時卒業證書授與式を舉行する等本年度卒業生

### 漁村なればこそ

#### 選挙にこの新記録

男を下げた遠藤藤之丞氏

豊間村遠藤藤之丞氏に言へば石城地方では知らぬ人はない同村漁業組合長であり大敷網に深い關係を有する人で同村に重きをなしてゐる人であるが、去る二十三日並に二十五日行はれた豊間村漁業組合役員改選に現はれた新事實は、選挙として全く珍らしい新記録であり且つ又遠藤氏の勢力

### 驚いた!!!

こうまで安いとは  
一 加納活版所の印刷物!!

水野セツ、宮内美枝、柴野マ、下河邊シマ、庄司サトミ、先崎キン、關谷キク、鈴木ヨシ、鈴木トミ、鈴木フヂエ、鈴木キキ、浦川タケ

▲技藝部速成科 小野アキ、根本ウメノ、桑折ツネ、宇佐見スセ、佐藤マサ、木田フミ

▲技藝部研究科 高木エノ、阿部ヨシイ、星ケサヨ、大平ヨシエ、小野アサ、小幡イチ、荒タカ、酒井シモ、鈴木ミヨ

### 校長を辭職

平町播館小路播館士仲里文平氏は既往約一ケ年間私立磐城青年學校校長として盡力してゐたが三月を以て校長を辭任し法律事務に専念する事になつた。

公人 私人

▲平陽新利雄氏 小山驛長に榮轉二十七日午前九時平驛發で赴任する。

### 高等飛行

航空思想宣傳の爲め

兵庫縣出身陸上等操縦士大藏清三氏は航空思想宣傳のため去る廿三日來石城郡勿來町に滞在し機體搬行せる機の組立てを了して今廿六日在郷軍人分會後援の下に同町海岸に於て得意の高

### 勿來上空で

航空思想宣傳の爲め

兵庫縣出身陸上等操縦士大藏清三氏は航空思想宣傳のため去る廿三日來石城郡勿來町に滞在し機體搬行せる機の組立てを了して今廿六日在郷軍人分會後援の下に同町海岸に於て得意の高

木岩吉氏と共に監事に當選したに過ぎなかつた、そこで理事に當選した遠藤伊平治、鈴木繁松、大峯千代治の三氏は遠藤氏の面目を保たせる目的で理事の辭書を認め提出したので二十五日再び役員選挙を行つた處、理事には前回同様

